

日韓トンネル通信

編集/発行

 特定非営利活動法人
 日韓トンネル研究会

 事務局：東京都千代田区飯田橋4-1-11
 〒102-0072 信濃ビル6階
 TEL 03-3265-8813 FAX 03-3237-1012
 E-mail office@jk-tunnel.or.jp

 九州事務所：佐賀県唐津市和多田2344-6
 〒847-0000
 TEL 0955-75-2930
 ☎0120-09-2188


写真-1 第15回通常総会（2018年6月7日、アルカディア市ヶ谷・私学会館）

（報告）第15回通常総会が行われました。

第15回通常総会が2018年6月7日（木）、アルカディア市ヶ谷・私学会館で行われた。



野澤太三会長

【会長挨拶】冒頭の挨拶で野澤会長は「韓半島は地政学的にも重要な意味があり、その平和は世界とアジアの安定に欠かせない。日韓トンネルが役立つよう、技術・経済・社会的に実行可能な案をまとめて行きたい」と今年度の研究の抱負を語った（写真-1）。



柳鐘又氏

【来賓祝辞】釜山にある社団法人韓日トンネル研究会のリュ・ジョンウ（柳鐘又）事務総長とイ・ドンウク（李東郁）理事は「韓日トンネルの実現には交流の積み重ねが重要」と来日の目的を語った。



李東郁氏



江島潔参議院議員

江島潔参議院議員は「日韓トンネルの実現は私の住まいのある山口県を含め西日本にとって大変プラスになる。参議院の大先輩である野澤先生のもとで、日韓トンネル実現のために汗を流して行きたい」と語った。



徳野英治顧問

一般財団法人国際ハイウェイ財団の徳野英治会長（当会顧問）は「野澤先生の日韓トンネル実現に対する信念と情熱に心から敬服する。それを若者が相続し、夢を現実のものとして実現しなければならない」と挨拶した。また「近々行われる釜山市市長選では候補者5名全員が日韓トンネルの推進を選挙公約に掲げている。新市長誕生後には釜山市でスピード感をもって日韓トンネル実現の機運が高まるのではないかと情勢の変化に期待感を示した。

【議 事】野澤会長が議長に選出され議事に入った。報告・議決事項は以下のとおり。なお、これら審議・承認された各種報告書は、当会の所轄庁である東京都がインターネット上の「NPO 法人ポータルサイト」で公開している。

- ①平成 29 年度全体経過報告
- ②平成 29 年度事業活動報告
- ③平成 29 年度活動決算報告
- ④平成 30 年度事業計画案
- ⑤平成 30 年度活動予算案
- ⑥平成 30 年度役員改選案

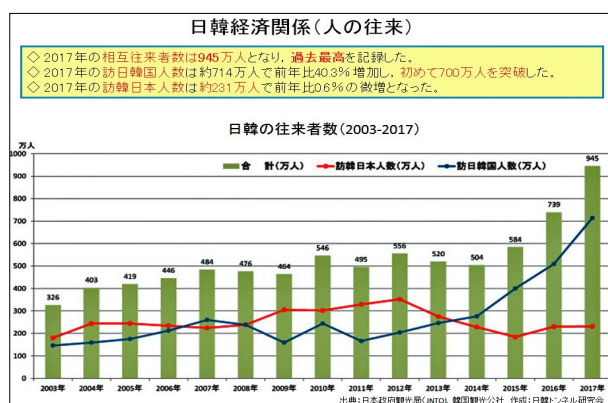


図-1 日韓間の人の往来

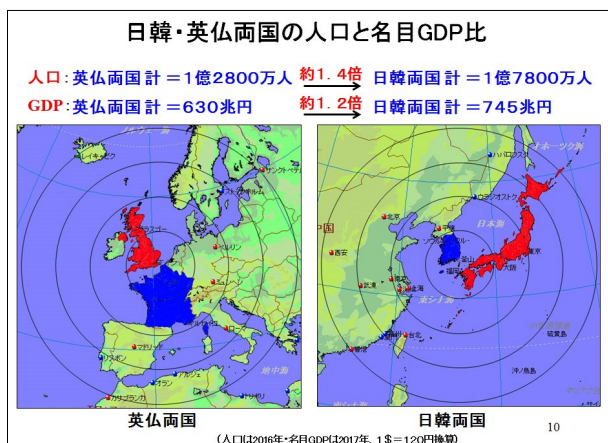


図-2 日韓・英仏両国の人口とGDPの比較



図-3 日韓トンネル推進がアジェンダになる



写真-2 総会終了後の講演会

【講演会】

総会に続く講演会では、野澤太三会長が「日韓関係と日韓トンネルの推進」をテーマにパワーポイント 70 枚を使い約 1 時間講演した。

1. 日韓関係

韓国の経済を GDP でみると 1 兆 3,779 億ドル(2015 年)で世界 11 位の先進国である。貿易では韓国にとり日本は中国、米国に次ぐ第 3 位の貿易相手国であり、日韓間の相互往来者数は 945 万人(2017 年)に達する(図-1)。日本と韓国の関係は、様々な分野でこれまでにない広がりや深みを見せており、相互理解の土壌は確実に育まれている。

2. 英仏海峡トンネルと日韓トンネル

人口比では日韓両国は英仏両国の 1.4 倍、GDP 比では 1.2 倍に達しており、日韓トンネルが成立する背景は十分にある(図-2)。実際にどれだけの旅客と貨物を取り込めるかを左右するルート選定やトンネルの使用法が今後の課題である。英仏海峡トンネルではカートレイン形式のシャトル列車が旅客の過半と貨物の大部分を運んでいる。

3. 日韓トンネルの歴史

1990 年にノ・テウ(盧泰愚)大統領が参議院本会議で日韓トンネルを提起し、同年、海部俊樹首相が青瓦台で賛意を表した。2010 年には日本と韓国の学者による日韓新時代共同プロジェクトが 21 項目の行動計画のひとつとして「海底トンネルの推進」を掲げた(図-3)。

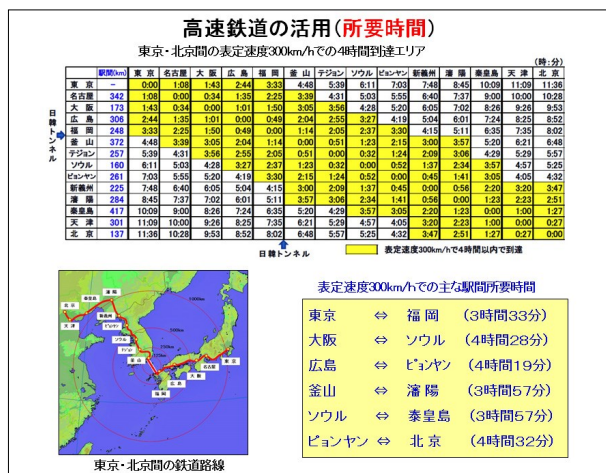


図-4 東京・北京間の鉄道所要時間

表-1 施工以外の課題

施工以外の課題

- 技術的課題**
 - ・TBM、セグメント、ずり出し、維持管理、改良
- 経済合理性の見直し**
 - ・B/C、(B+D)/C、財源、公設民営
- 行政、議会の理解と協力**
 - ・議員連盟、立法、予算、施行主体
- シャトル外交に期待**
 - ・日韓基本条約、日韓首脳間合意、アジェンダ21の発展
- 国民的合意の形成**
 - ・心の通い合うトンネル

表-2 協力体制構築のために

日韓トンネル計画の進め方

- ①日韓両国の国会議員経験者(OB)の理解
- ②日韓・韓日議員連盟関係者の理解
- ③日韓両国の国会議員(現職)の理解
- ④必要な法案の整備
- ⑤関係調査機関の調整
- ⑥本格的な日韓共同調査開始

国民的合意のために

強い意志の力が必要

玄海の難越え、**幸**の通い合う、**いざ貫かむ**、この隧道を

2012年6月26日

心の通い合うトンネル

玄海の難越え、**幸**の通い合う、**皆で掘ろう**、この隧道を

2018年6月7日

図-5 心の通い合うトンネル

4. 日韓トンネルの概要

建設時の施工基地、供用時の旅客と貨物の乗り降り、トンネルの保守管理基地として機能するように、壱岐、対馬、巨済島は**全て地上駅**にすることが大切である。トンネル内を何が走るかについては実行可能で経験済みの**鉄道**が適切である。日本で現在開発中の高速鉄道「ALFA-X」は試験時最高速度 400km/h、営業最高速度 360km/h で、これを活用すれば日韓トンネル区間 372km を含む東京・北京間 3,483km は東アジア発展の拠点となる(図-4)。

5. 施工上の課題

3MPa (30 気圧) 程度の水圧下で施工可能なシールドマシン、長期間にわたりトンネル空間を維持するセグメント、およびシールドマシンとセグメント間の止水法の開発が課題のひとつである。また片押し 30km の掘削を実現するためシールドマシンの内側から**カットビット**を交換する**技術の開発**も重要である。施工以外の課題は別表の通りである(表-1)。

6. 共同調査

対馬海峡西水道では日韓両国による地形地質などの共同調査が欠かせない。日本側では海洋研究開発機構(JAMSTEC)が調査船を保有している。共同調査に取り組むための両国の協力体制をつくる必要がある(表-2)。

7. 訪韓と平昌冬季五輪観戦

協力体制をつくる第一歩として今年 2 月に大韓民国憲政会を訪問し交流を始めた。またピョンチャン(平昌)五輪を観戦した。頻繁に往来し心を通い合わせることが大切である。

8. 心の通い合うトンネル

古来から日韓間には心の通い合う交流が多くあった。日韓トンネル実現には強い意志の力と共に、知恵を出し合い、力を合わせ、心を通い合わせて**皆で掘る**ことが大切である。その気持ちを込めて和歌にした(図-5)。



写真-3 幹事会



写真-4 第14回トンネル工法勉強会



写真-5 特別フォーラムの会場（専修大学）



写真-6 野澤会長の基調報告

(報 告)幹事会が行われました。

幹事会が2018年4月24日(火)、東京都千代田区飯田橋の当会本部で行われ、6月7日に開催する第15回通常総会に諮る議案書を検討した。また藤橋健次常任理事が「**越境交通インフラの事例と展望**」をテーマに講演した。この中で欧州諸国間において国境検査なしで国境を越えることを許可する**シェンゲン協定**(1995年発効)の重要性が指摘された。日韓トンネルを実現する上で大いに参考となるものである(写真-3)。

(報 告)第14回トンネル工法勉強会が行われました。

第14回トンネル工法勉強会が2018年6月27日(水)、東京都千代田区飯田橋の当会本部で行われ、2018年度の研究6項目を選定した。また日本国内で日韓トンネルを**新幹線**や**道路**など既存インフラと**接続**する方法について佐賀県地図などを拡げて検討した(写真-4)。

(報 告)一帯一路日本研究センター主催の特別フォーラムで基調報告をしました。

2018年8月1日(水)、東京都千代田区神田神保町の専修大学で一帯一路日本研究センター(代表:新藤榮一)主催の特別フォーラムが行われた。中国人の学者や留学生などが多数参加するなか、当会の野澤太三会長が「日韓トンネル計画と推進方策」をテーマに基調報告をした(写真-5)。

野澤会長は報告の中で「**一帯一路**が東に伸びて日韓を中核とする**日韓トンネル圏**と**接続**することで、**大洋州**そして**アメリカ**と繋がり、全世界に影響するものとなり得る」と語った。

また質疑応答で**韓中トンネル**の可能性についての質問に対し、「韓中トンネルは検討の余地はあるが、日韓トンネルは北朝鮮を経由してこそ大きな効果が得られる。そのためには日本と韓国を繋ぐだけでも効果があることを示すことが大切」と回答した(写真-6)。